

# 環境活動レポート 2010

2010. 1. 1 ~ 2010. 12. 31



東洋染工株式会社

# 目 次

ごあいさつ	
環境活動	・・・ 1
会社概要	・・・ 2
環境宣言	・・・ 3
I. 環境活動の取り組み体制	・・・ 4
1. 環境マネジメント組織図	
2. 製品品質管理の環境側面取り組み体制	
II. 環境活動の内容と実績	・・・ 5
○ 2010年度「環境改善活動実績」一覧表	
1. 「燃料使用量の削減」実績と推移	
2. 「電力使用量の削減」実績と推移	
3. 「排水量の削減」実績と推移	
4. 「3R推進による産業廃棄物の削減」実績と推移	
5. 「グリーン調達の推進」実績と累計	
6. 「二酸化炭素総排出量」実績と推移	
III. 危機管理体制のレベルアップ	・・・ 9
1. 危機管理マニュアル	
2. 「AED(自動体外式除細動機)」の設置	
IV. 環境保全に伴う法令順守の取り組み	・・・ 10
1. 化学物質に関する法律	
2. エネルギーに関する法律	
3. 廃棄物・リサイクル・公害防止に関する法律	
V. 社会貢献活動	・・・ 12
1. 工場周辺の美化活動	
2. 「クリーンアップふくい大作戦」参画	
3. 安全歩道整備への協力	
4. 献血活動	
5. 募金活動	
6. ハイブリッド車の導入	

## ごあいさつ

専務取締役 東林 利弘

このたび私達が行った一年間の環境改善活動を総まとめする冊子が出来上がりました。私達の会社は事業活動によって多くの社会貢献をしていますが、片方で少なからぬ環境負荷も排出しております。燃料や電気を多量に使用してCO<sub>2</sub>を排出し、大量の排水を河川に流し、排煙も産業廃棄物も発生させています。これらを減量すると共に社会にお返しをしていかねばなりません。お返しとは即ち社会貢献であり環境美化であります。その減量とお返しの決算をして、社員全員が確認をし、次のステップに繋げていく、そして利害関係者の方々にも評価して頂くという流れが大事な事であります。

その一助としてこの冊子を利用して頂く様お願い致します。

会社の目標はいつの時代も事業運営と環境管理の持続可能性であります。

私達は今後共この目標を見据えて、バランスのとれた運営を目指します。





## 環境活動

取締役工場長 山本 隆 英

環境管理責任者の任を預かって一年が経ちました。この環境改善活動を通じて、環境はすべてに通ずると実感しております。

開発、品質、生産、安全、法令規制そして順守する意識の大切さ。ルールを知り、ルールを守り、ルールを作りの環境行動は、人格をよくあらわすと思います。

この面からみて、このレポートは会社の品格を示す一部でありましょう。東洋染工(株)の通知表であります。気恥ずかしさを感じますが、皆様にご確認、ご評価を頂くことで、今後とも、環境行動に責任を全うして参ります。そして、東洋染工(株)の存在意義を問い、社員全員の参加で環境活動に取り組みます。



## 会社概要

1. 会社名 : 東洋染工株式会社
2. 代表者 : 代表取締役 野口 勝男
3. 所在地 : 福井県坂井市春江町田端43字15番地
4. 事業内容 : 各種繊維品の染色加工・コーティング加工(接着芯地)
5. 主な製品用途 :

- ① 衣料資材用途 : ファンデーション、ランジェリー、スポーツユニフォーム、裏地、芯地等
- ② 医療資材用途 : 医療資材基布、病院用カーテン、ベッドシート用等
- ③ 産業資材用途 : 自動車内装材、ワイピングクロス、ファスナー水処理部材、各種フィルター、農業用資材、土木用資材等
- ④ 生活資材用途 : 寝装材、キャラクターグッズ、クッション、カバン等

6. 資本金 : 80,000,000円
7. 従業員 : 230名
8. 敷地面積 : 39,289㎡
9. 延床面積 : 16,545㎡
10. 沿革 : 1963年8月 大阪府寝屋川市で会社設立  
1975年9月 福井県坂井市春江町に移転



# 東洋染工株式会社

## 環 境 宣 言

### 基 本 理 念

東洋染工株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

### 基 本 方 針

わたしたちの会社は、繊維物・不織布の染色仕上加工品と接着芯地加工品の設計・開発製造に係わる事業活動及び製品の環境影響を低減し、次の方針に基づく活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 事業活動及び製品に係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 環境関連の法令・規制、県・市条例、その他の要求事項を順守します。
3. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を「環境管理重点テーマ」として取り組みます。

I. 燃料使用量の削減

II. 電力使用量の削減

III. 排水量の削減

IV. 3R推進による産業廃棄物の削減

V. グリーン調達推進

VI. 地域社会貢献

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知徹底するとともに、社外へも公表します。

上記方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。



制定日 2004年12月21日

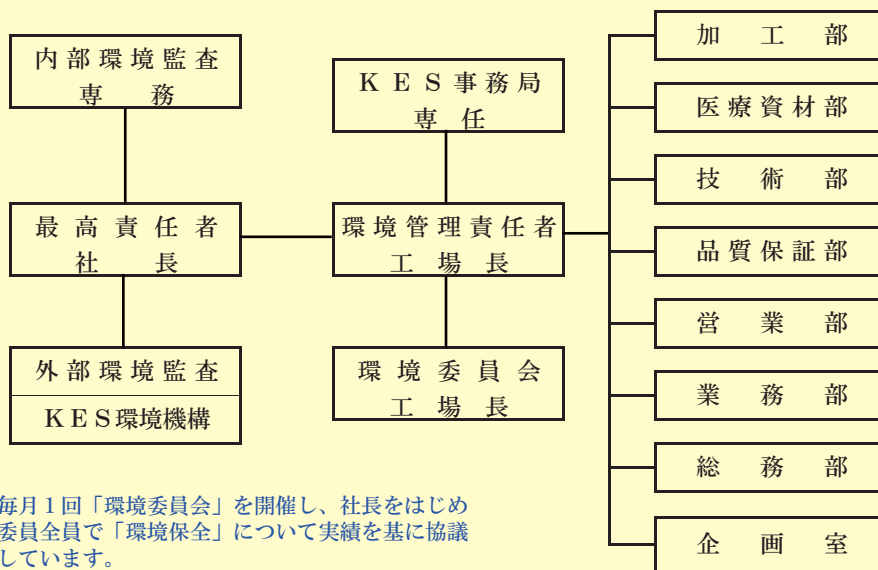
改定日 2010年 4月 1日

東 洋 染 工 株 式 会 社

代表取締役 野 口 勝 男

# I. 環境活動の取り組み体制

## 1. 環境マネジメント組織図

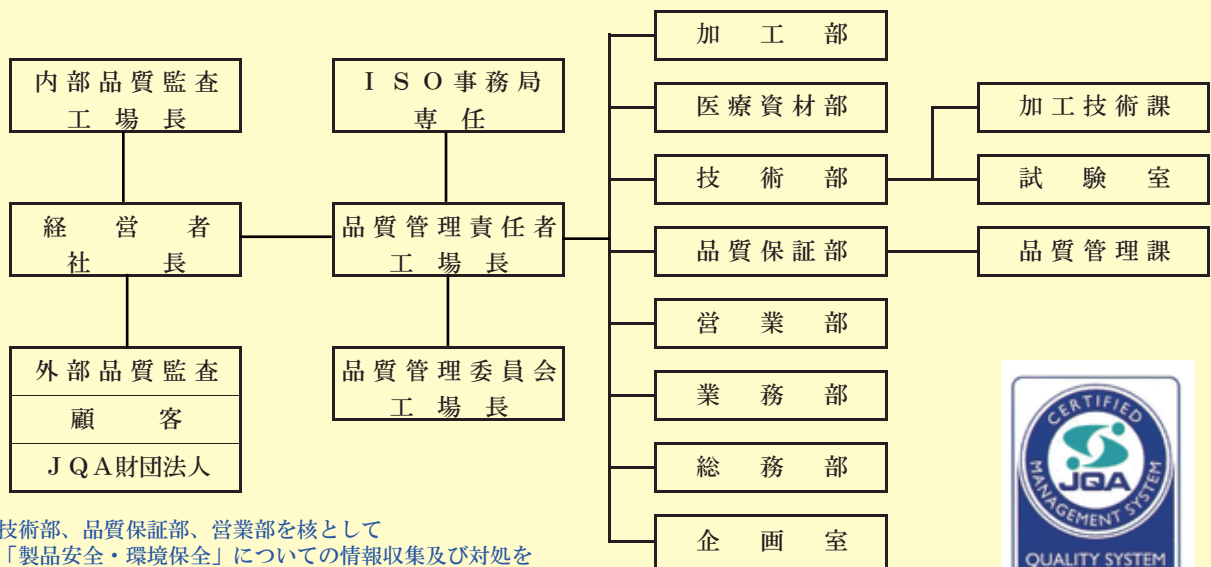


※ 毎月1回「環境委員会」を開催し、社長をはじめ委員全員で「環境保全」について実績を基に協議しています。

### 認証取得

登録証名 : KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2  
 登録認定機関 : 特定非営利活動法人 KES環境機構  
 登録番号 : KES2-138  
 登録日 : 2005年6月1日

## 2. 製品品質管理の環境側面取り組み体制



※ 技術部、品質保証部、営業部を核として「製品安全・環境保全」についての情報収集及び対処を図り、品質管理委員会への反映に取り組んでいます。

### 認証取得

登録証名 : ISO9001:2008品質マネジメントシステム  
 登録認定機関 : JAB 財団法人 日本適合性認定協会  
 登録認証機関 : JQA 財団法人 日本品質保証機構 (認定番号 CM009)  
 登録証番号 : JQA-QM8169  
 登録日 : 2002年4月26日

## II. 環境活動の内容と実績

### 2010年度「環境改善活動実績」一覧表

No.	環境改善項目	具体的方策	目標値	実績値	達成率	評価
1	燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気バルブの開閉管理</li> <li>・点火時間管理</li> <li>・保温材の保全</li> <li>・温水の利用</li> <li>・空調機設定温度の順守</li> <li>・連続運転の推進</li> </ul>	加工生機重量比  1%削減	5.10%	510%	A
2	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停止中の設備・機器の電源OFF</li> <li>・稼働率の向上</li> <li>・連続運転の推進</li> <li>・空調機設定温度の順守</li> <li>・エレベーター使用頻度減</li> <li>・照明器具の高効率化</li> <li>・照明位置、照度の見直し</li> <li>・圧縮空気の使用量削減</li> <li>・インバーター化</li> </ul>	加工生機重量比  1%削減	4.32%	432%	A
3	排水量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の流しっぱなし防止</li> <li>・染色処方改善</li> <li>・1回当り加工量アップ</li> <li>・温水利用で、洗浄回数削減</li> <li>・低釜洗浄で効率化</li> <li>・洗浄時間、回数見直し</li> </ul>	加工生機重量比  1%削減	1.86%	186%	A
4	3R推進による産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄処分品の再使用・再生利用</li> <li>・繊維屑の再生利用</li> <li>・コピー用紙の使用抑制</li> <li>・紙管の再使用</li> <li>・ビニールシートの再使用</li> <li>・廃棄物分別の徹底</li> <li>・薬剤の再使用</li> </ul>	発生廃棄物重量比  5%削減	11.41%	228%	A
5	グリーン調達推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ製品購入の推進</li> <li>・製品安全に関する社内外への対応</li> </ul>	エコ製品購入品目数 132件/年	166件/年	126%	A
6	地域社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場周辺の清掃</li> <li>・5S活動</li> <li>・「クリーンアップふくい大作戦」参画</li> <li>・危機管理体制の教育・訓練</li> </ul>	*工場周辺の美化活動 10部門毎に1回/月 120回/年  *「クリーンアップふくい大作戦」参画 4回/年	120回/年  4回/年	100%  100%	A  A

適合性評価：A 良好(達成度90%以上)、B やや不足(達成度70%以上90%未満)、C 不適合(達成度70%未満)



# 1. 「燃料使用量の削減」実績と推移

## 実行責任者コメント

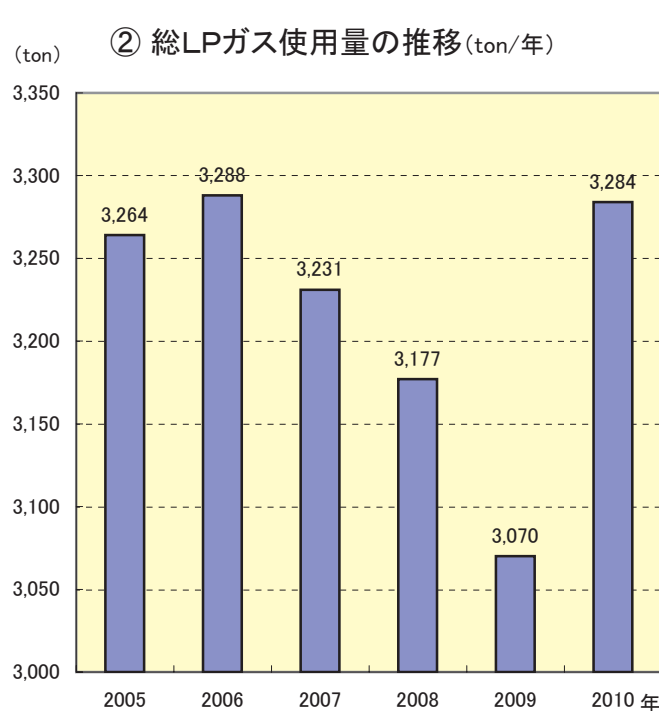
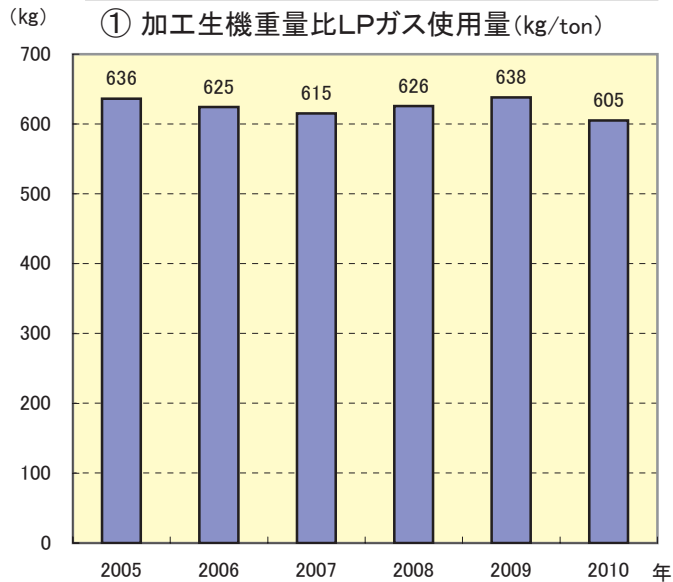
品種が変わり加工生機目付が2010年度は2005年度に対して約19%重くなってきているが、具体的方策に基づいた活動や現場での改善活動により、加工生機重量に対するLPガス使用量を約4.9%削減することが出来ました。



施設課・伊藤主任

$$\text{加工生機目付(g/m)} = \text{加工生機重量(g)} \div \text{加工長(m)}$$

142 g/m   142 g/m   139 g/m   150 g/m   166 g/m   169 g/m



\* LPガス使用量/加工生機重量

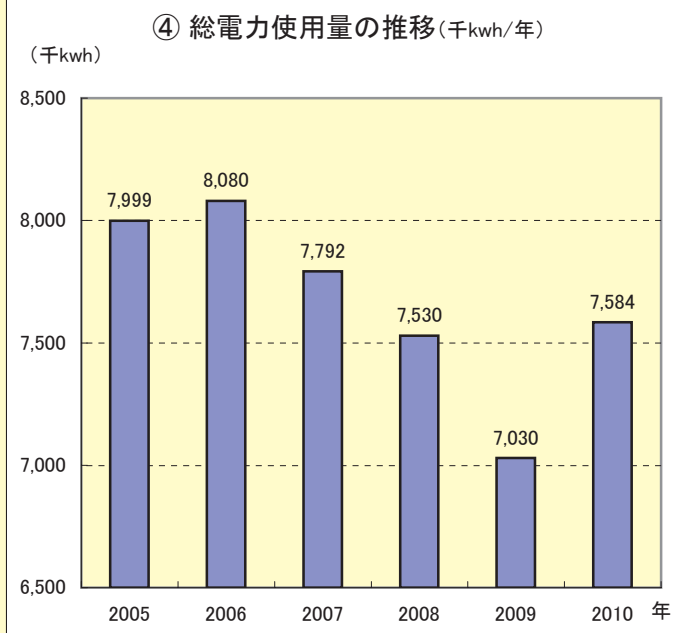
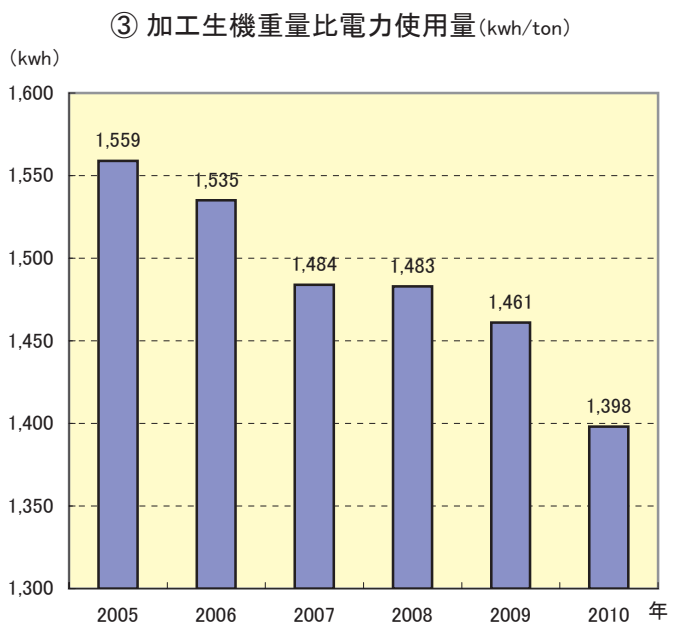
# 2. 「電力使用量の削減」実績と推移

## 実行責任者コメント

2010年度は全社員、活動責任者の協力により大幅に目標を達成する事が出来ました。来期も活動責任者との打合せを綿密に行ない、電力量削減を推進します。



施設課・清水課長



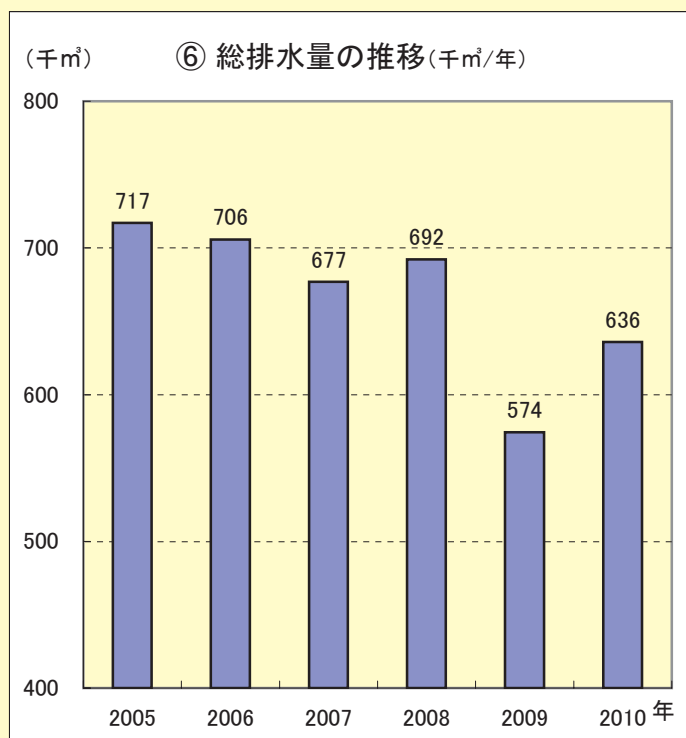
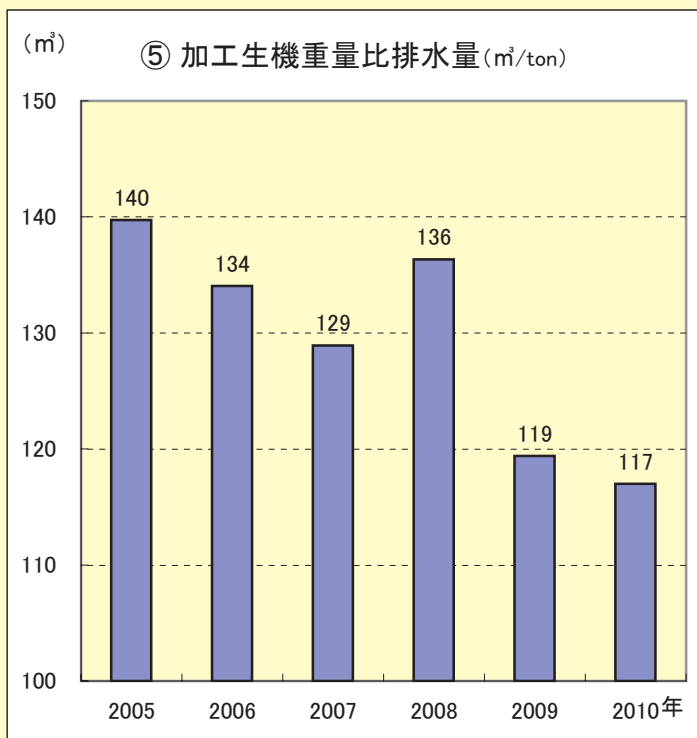
### 3. 「排水量の削減」実績と推移

#### 実行責任者コメント

水は人間の生活や産業にとって欠かすことのできない最も重要な資源 (Resource) です。この大切な資源を未来に託すためにも、私達は無駄を失くし排水量削減に取り組んでいます。



染色課・高橋課長



### 4. 「3R推進による産業廃棄物の削減」実績と推移

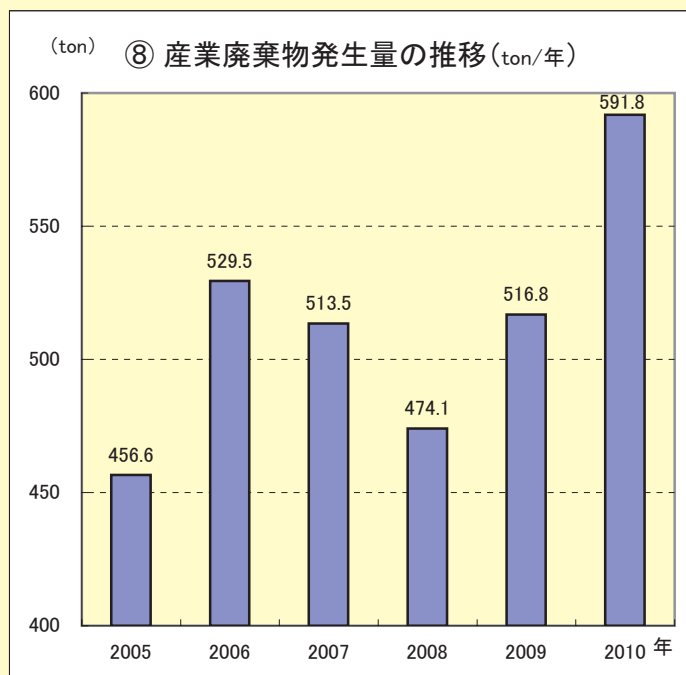
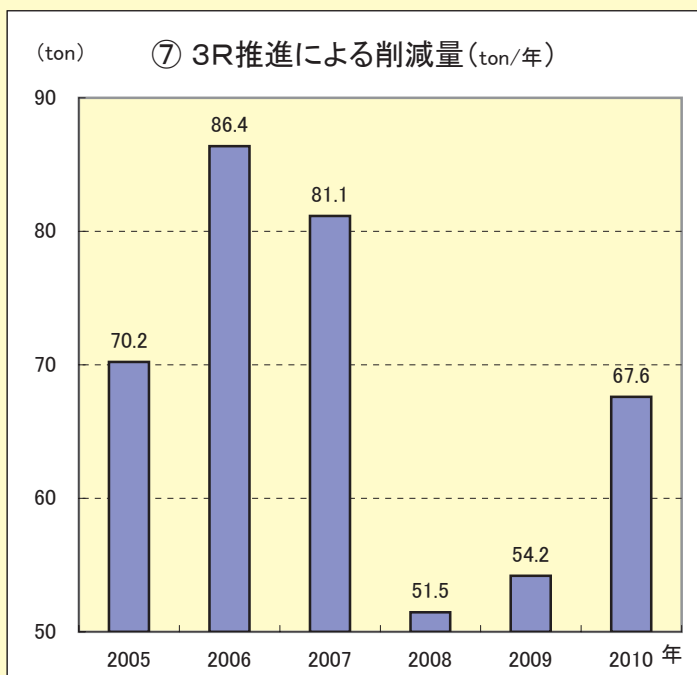
#### 実行責任者コメント

東洋染工社員は、産業廃棄物を出さないを念頭におき「3Rの推進活動」をしてきました。

1. リデュース …… 廃棄物を出さない
2. リユース …… 同じものを大切に繰り返し使う
3. リサイクル …… 廃棄物を再資源化する



業務部・中屋敷次長



## 5. 「グリーン調達」実績と累計

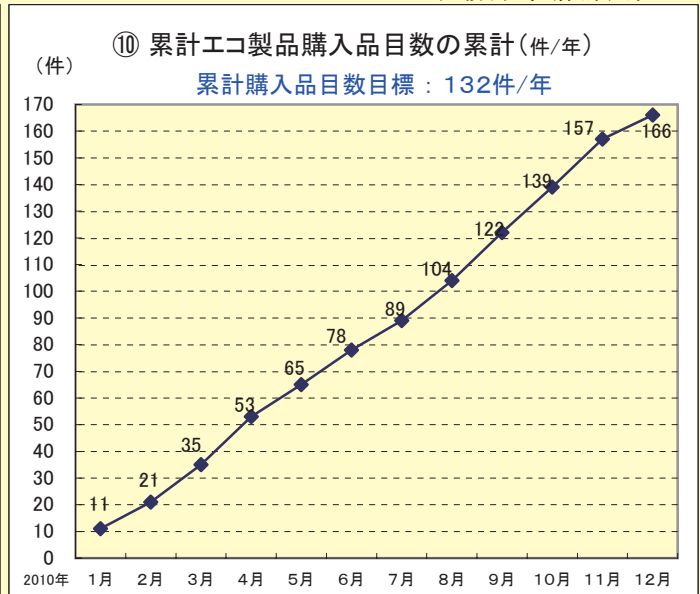
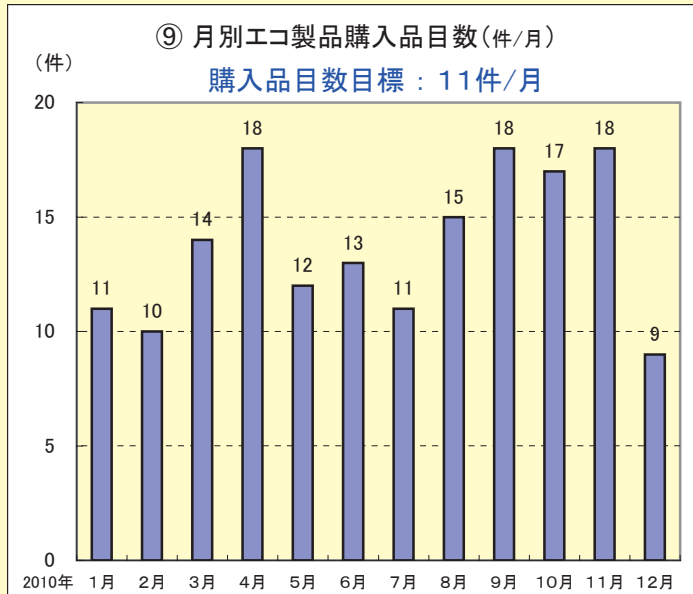
### 実行責任者コメント

今期を振り返ってみますと、未達成の月は2回ありましたが、それ以外は非常に順調な経過でした。

業績に引き上げられた感がありました。



総務部・佐藤課長代理



※ エコ製品購入品目対象(環境物品等)はグリーン購入法の「2010年度特定調達品目一覧表」に基づきました。(19分類、256品目)

## 6. 「二酸化炭素総排出量」実績と推移

### 環境管理責任者コメント

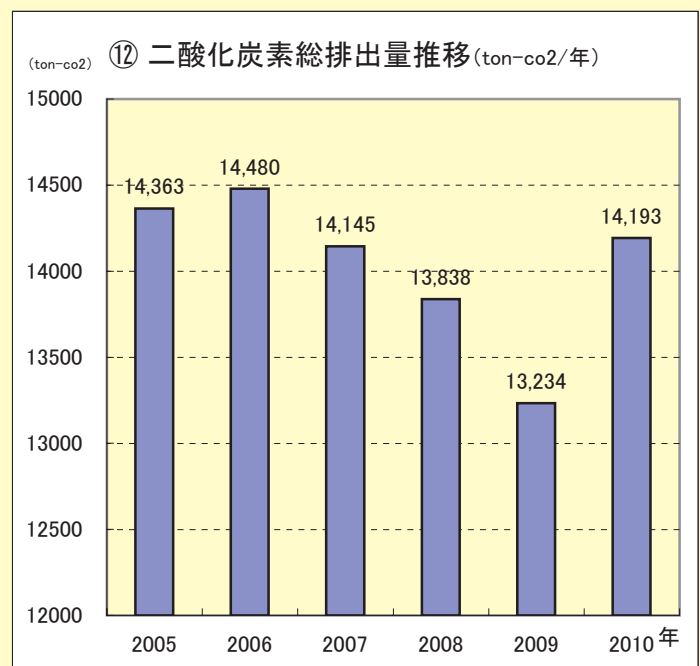
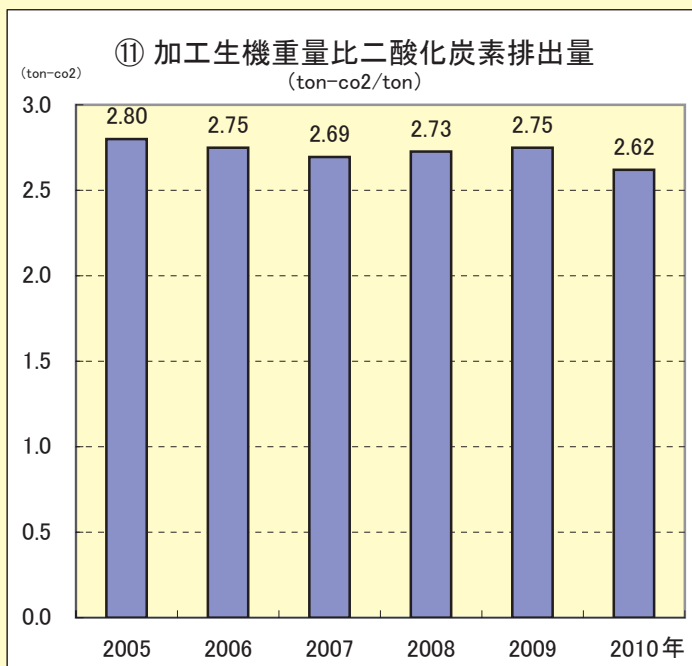
2010年度は、改正省エネ法もあり、工場、事務所ともに取り組みました。

その結果、原単位では2005年度比6.4%の削減が達成できた。

今後とも、景気の動きもあるが、昨年対比1%減に取り組みます。



山本工場長



### Ⅲ. 危機管理体制のレベルアップ

近年、地震・水害などの自然災害や火災・感染症の流行などの突発的災害によってサプライチェーンの継続性を脅かす不測の危機が増大しています。

不測の危機に迅速な対応ができるように、「地震対策編」・「防火管理編」・「新型インフルエンザ編」・「安全衛生の基本ルール」等のマニュアル整備を図り、小冊子にまとめ全社員に配布しました。緊急事態時の組織体制を明確化すると共に、一人一人の任務教育・行動教育・実行訓練を進め、更に日頃から防災検証(点検)に努めています。

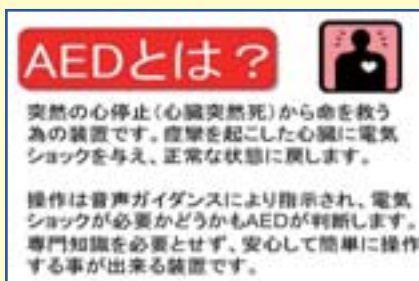
今後、危機管理体制の更なる充実を図りつつ、お取引先様のご協力をいただきながら事業継続計画(BCP)の策定整備をすると共に、事業継続マネジメント(BCM)に向けて取り組んでまいります。

#### 1. 危機管理マニュアル



#### 2. 「AED(自動体外式除細動機)」の設置

あってはならない事ですが、心臓の心停止(心室細動)という緊急事態を想定し、救命処置の「AED」を設置しています。職場ごとに、ビデオ映像で解説教育に努めています。



〔AED〕保管場所



## IV. 環境保全に伴う法令順守の取り組み

地球環境保全に伴う法令の順守は、企業倫理の基盤をなす重要な課題の一つであることを認識して、日々の事業活動における化学物質や廃棄物の適正な管理に努めると共に、環境汚染防止活動に取り組んでいます。

法令・規則・条例等を順守してゆく上での環境関連資格の取得、環境保全の教育・訓練、環境関連法規の報告・記録の実行責務に努めています。

### 1. 化学物質に関する法律

化審法・化管法・労働安全衛生法・消防法・高圧ガス保安法・毒物及び劇物取締法・家庭用品規制法等に関して、内容を精査しながら実行、義務、責務などに取り組んでいます。

- ① 化管法(P R T R制度)に基づき、「第一種指定化学物質の排出量及び移動量」について、該当化学物質4種類を福井県知事様経由で経済産業大臣に報告しました。
- ② 化審法やE U (欧州連合) のリーチ (REACH) 規則にのっとり、安全で安心な製品作りに取り組んでいます。製品評価として、「エコテックス100」を認証取得しています。
- ③ 汚れ洗浄剤に一部含まれていた「トリクロロエチレン」、「ジクロロメタン」は、含有していない化学物質に代替を図り全廃化をしています。
- ④ 消防法に基づき、防火設備や消火器具について検証(点検)・整備・教育・訓練に取り組んでいます。



屋内消火栓



屋外消火栓



消火訓練

また嶺北消防組合と嶺北防火協会共催の「第24回自衛消防操法大会」に出場しました。「屋外消火栓競技」に男性3名組、「屋内消火栓競技」に女性2名組の2チームが参加しました。上位入賞はなりませんでした。大会前日の消防署職員による指導会や自主練習の機会が与えられ、知識、技能が習得できました。出場回数を重ね、経験者を増やし「自主消防隊」のレベルアップに結びつけられるよう努めています。



## 2. エネルギーに関する法律

- ① 当社は、省エネ法に基づき、「第一種エネルギー管理指定工場」になっています。  
法令・関連規則を順守し、エネルギー管理体制を整え、燃料使用量削減と電力削減を環境改善課題にかかげ取り組んでいます。
- ② 高圧ガス保安法に基づき、「第一種貯蔵所設備」を設置し「消費業務」をしています。  
法規制に従い「定期自主検査」と「従業員の保安教育・訓練」に取り組んでいます。



## 3. 廃棄物・リサイクル・公害防止に関する法律

- ① 製品の製造・サービス工程で産業廃棄物(一部一般廃棄物)が発生します。  
廃棄物量削減のために3R(抑制・再使用・再生利用)活動を進めています。  
一方、産業廃棄物は福井県知事認可事業者と委託契約を結び適正に処理しています。  
更に、「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」を厳密に管理すると共に最終処分場の立入り調査も実施しています。



- ② 廃棄反・不良反の有価商品化、繊維屑のサーマルリサイクル化、紙管・運送器具の再使用化、紙類・空缶等の分別による再生利用化等によって産業廃棄物の減量化に努める一方社内ではコピー用紙の抑制や再使用可能な化学物質については工夫を重ね再使用に取り組んでいます。
- ③ 水質汚濁防止法、福井県公害防止条例施行規則に基づき、排水処理施設から公共用水域への放流水を1回/週、福井県知事登録環境分析センターで「水質分析・測定」をしてもらいデータをもとに監視・調査に努めています。不測にも汚水が公共用水域に流出した場合を想定して「土のう」の常備、「水中ポンプ」の設置を整備しています。



土のう保管

水中ポンプ

- ④ 大気汚染防止法に基づき、乾燥排煙中の油分除去を目的に「油煙分離装置」を開発して回収油分のリサイクルに取り組んでいます。

## V. 社会貢献活動

### 実行責任者コメント

「企業も地域社会の一員である」ことを社員一同が共通の認識として持ち続け社会貢献活動に取り組んでいます。



マイスター室・河端次長

#### 1. 工場周辺の美化活動

始業前、昼食休憩時間、終業後の時間を利用して、10部門にわかれて、毎月1回担当地域の美化活動を実行しています。晴天・曇天・雨天があり、又暑い日・寒い日もありますが、1人15分/1回程度公道、農道に散乱する空缶、ペットボトル、タバコの吸殻等を拾い集めました。

#### 2. 「クリーンアップふくい大作戦」参画

福井県、環境ふくい推進協議会等が主唱する「クリーンアップふくい大作戦」が平成17年度から季節ごとに年4回実施されることになったのを契機に当社も美化活動範囲を拡げて地域社会貢献に参加するようになりました。

年度	実施日	参加人員 (人)	実 施 結 果				
			空 缶 (本)	空 ビ ン (本)	ペットボトル (本)	燃えるゴミ (kg)	燃えないゴミ (kg)
平成 22年 (2010年)	12月11日	118	65	9	12	22	7
	9月18日	129	46	11	17	25	12
	6月6日	178					
	3月6日	131	126	26	33	42	24
平成 21年 (2009年)	12月5日	119	64	18	32	28	22
	9月20日	126	92	22	31	34	17
	6月7日	189					
	3月7日	128	125	32	28	48	11
平成 20年 (2008年)	12月6日	91	56	18	19	25	8
	9月13日	124	133	28	32	34	18
	6月8日	183					
	3月15日	108	145	48	32	73	45
平成 19年 (2007年)	12月8日	113	84	35	24	41	19
	10月6日	135	78	32	25	72	30
	6月4日	196					
	3月17日	103	128	49	29	53	44
平成 18年 (2006年)	12月9日	90	108	42	31	66	24
	9月9日	128	148	55	41	48	35
	6月5日	209					
	3月18日	74	132	48	76	41	56
平成 17年 (2005年)	12月4日	58	76	18	47	45	18
	9月10日	71	120	30	56	40	9
	6月6日	199					

\* 毎年6月度は工場内外周辺の清掃(除草・側溝清掃等)、消防訓練を実施

◎ 工場周辺の公道、農道をはじめ、時には田んぼの中や農業用水の中に入って投棄されている空缶・空ビン、ペットボトル・廃棄物等を約2時間かけて拾い集めました。「拾い一分別一廃棄一集計一報告」一連の活動を通じて環境保全の大切さを噛みしめています。





### 3. 安全歩道整備への協力

近隣住民のみなさんや特に児童のみなさんが交通事故にあわないように社有地を提供して「歩道」整備に役立てていただきました。



### 4. 献血活動

毎年、日赤移動献血車に巡回してもらい、工場敷地内で「献血」に協力をさせてもらっています。



平成22年11月26日



平成19年厚生労働大臣 感謝状

### 5. 募金活動

鹿児島県奄美大島在住のみなさんは、平成22年10月20日(水)から降り続いた記録的な豪雨で洪水や土砂崩れが発生し大きな災害を被られました。私たちは会社・労働組合が協力して「奄美大島水害救援金」を募り、多くの浄財が集まりました。

早速、日本赤十字社 福井県支部を通じて奄美大島のみなさんに役立てていただきました。



日本赤十字社からの感謝状



## 6. ハイブリッド車の導入

弊社では、一般社用車を3台所有し、日々の業務に使用しています。

ガソリン車をハイブリッド車に切り替え、二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化防止を推進します。また、社員には、ハイブリッド車の乗車体感をもとに環境対応車の大切さを意識してもらえることを望んでいます。



## 編集後記

全社を挙げて環境負荷の低減・環境保全の活動に取り組み、6年が経過したことを契機に「環境活動レポート」を初発刊することに至りました。

「持続可能な発展を目指す社会」の中で、「環境にやさしい企業」であり続けることを基本として、地球温暖化防止活動、循環型社会形成活動、法令順守、社会貢献等に関する社内環境活動の一端を紹介させていただき、活動内容の一部でも汲み取っていただければ幸いと存じます。

2011年3月11日14時46分に発生した「東日本大震災被害の甚大さ」を知り、早速「浄財募金」を募り、日本赤十字社 福井県支部を通じ被災地で役立ててもらえるよう協力させていただきました。

聞き耳情報によりますと、若い社員の間では「小遣い全額、手持ちお金全額」を浄財募金に回してもらえたとか……。辛い立場にある人には立直ってもらいたい心、立直りのお手伝いをしようという真情が垣間見えたことに感嘆致しました。

大震災の実態教訓は新しく取組むべき環境改善課題を教えてくれたと共に、永続的に語り伝承すべき事象と受け止めています。

顧客様、仕入先様、協力会社様、地域住民の皆様、社会関係様、社員の皆様など利害関係の方々にご一読をお願いし、みなさまのご意見を仰ぎたいと存じます。



企画室 高橋 功

東洋染工株式会社 環境活動レポート 2010  
発行年月 2011年6月

## 東洋染工株式会社

〒919-0477 福井県坂井市春江町田端 43 字 15 番地  
TEL: 0776-51-2323 FAX: 0776-51-5529



### 「水なし印刷でVOCの削減に大きく貢献」

水なし印刷は印刷に必要な大量の水を使わず、有害な有機溶剤等を排出しない技術です。

水なし印刷を指定することにより、VOCの削減に大きく貢献出来ます。

※VOCとは揮発性有機化合物、光化学スモッグの原因とされる  
(本環境活動レポートは水なし印刷にて印刷しております。)